

授業力向上に対する 取り組みを問う

答 先進地域の講演会を検討する



上原喜代子 議員

問 授業力向上のためどの先進地の方式を本町に取り入れているか。また、調査研修を通し本町の課題は何であると考えるか。

教育長 それぞれの良い部分を本町の教育実践に取り入れている。課題は、家庭や地域の教育力であると考え

問 教員が先進地の学校現場を視察している。本町に取り入れて実践している内容は何か。

教育指導主事 中学校の先生が小学校の授業を見学している。学ぶ課程を確認し中学校の授業につなげている。

問 先進地と比較して本町の教育予算は十分か。

教育部長 教育委員会としては、学校からの要求に応えるよう対処している。

問 秋田県の先進地域に教育関係者2千人余が視察研修をしている。本町との人事交流や講演会等の計画はあるか。

教育長 人事交流の計画はない。青少年協や学力向上推進協議会事業として講演会を実施する方向で検討していく。



小学校の授業を確認し、中学校の授業につなげている

不登校の状況と対応は

問 小中学校では登校渋りや不登校に関し、やや安定していると聞く。中1ギャップも減少の傾向にあるのか。

教育長 中1ギャップに関して資料が乏しく不登校の原因であるか掴み切れていない。

問 不登校の児童生徒の推移は、学力向上との因果関係もあるか。

教育長 具体的なデータで説明はできないが、因果関係は考えにくい。

問 不登校の結果で本町の進路なき卒業（未進学、未就職）の推移はどうか。

教育長 平成25年度は不登校生徒21人中12人が進学、2人が就職、7人が未定である。